ボランティア通信

ボランティア・センターおくたま

No. 123

社会福祉法人
奥多摩町社会福祉協議会
奥多摩町氷川199
（福祉会館１階）

電　話：(0428)83-3883
ＦＡＸ：(0428)83-2567
E-mail：borasen@okusyakyo.or.jp

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://okusyakyo.or.jp/

開所時間
月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時30分

ボランティア表彰受賞

10月19日に行われた第52回奥多摩町福祉大会では、ボランティア団体、社会福祉協議会から推薦された５名の方が、ボランティア表彰を受賞されました。
今回の受賞は、５年以上継続してボランティア活動を行い、その功績が顕著と認められたものです。皆様のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。
感謝状受賞者は、つぎの方々です。

食事サービスかたくりの会　　吉村優美子　様
・・食事サービスかたくりの会の会員として、配食サービスの配達のボランティア活動や福祉バザーの模擬店、物品陳列・値付けなどのボランティア活動にご尽力されました。

個人登録ボランティア　　原島　元行　様
・・個人登録ボランティアとして、高齢者在宅サービスセンターにおいて、配食サービスの配達のボランティア活動にご尽力されました。

おくたま傾聴ボランティアふくろう　　大澤五百子　様
・・おくたま傾聴ボランティアふくろうの会員として各施設において、傾聴ボランティア活動にご尽力されました。

かもんみ～るボランティアグループ　　堀　美和子　様
・・かもんみ～るボランティアグループの一員として、障がい者の日中活動の支援などボランティア活動にご尽力されました。

奥多摩指圧奉仕会　　森田　紀子　様
・・奥多摩指圧奉仕会の会員として、高齢者在宅サービスセンターでの指圧奉仕のボランティア活動にご尽力されました。

第27回福祉バザー

【日時】４月12日(土)予定
【会場】福祉会館
バザーの収益は、地域福祉事業を推進するためのボランティア基金の財源および、ボランティア団体活動費の助成に充てており、住民皆様から品物をご提供いただき開催しています。
詳細については、当法人の理事会などで決定次第お知らせして行きます。（後日各ご家庭にチラシを配布します）

傾聴ボランティア養成講座受講生募集

ボランティア・センターおくたまでは、ボランティア養成事業の一環として開催します。ご興味のある方は、年齢、性別は問いませんので、お気軽にお申し込みください。

《フォローアップ研修》
【日時】３月４日（火）
午後１時30分～４時30分
【会場】福祉会館集会室
【申込期限】２月28日(金)
【対象者】傾聴ボランティア養成講座を受講した方か、町内で傾聴ボランティア活動を行っている方
【講師】NPO法人　P.L.A　専門講師　前代表　後庵正治　氏
https://www.pla-keicho.org/index.php

ドクター片倉のここだけの話

ボランティア・センターおくたま
運営委員会　委員長
双葉会診療所　院長　片倉和彦

「伝えあい」

昨日のことです。そうだお礼は早いほうがいい、お世話になった人に感謝の気持ちを伝えようと思って、季節の絵はがきを使って、大きく丁寧に宛名を書いて、切手の組み合わせを思案して、さあ本文を、というところで、この絵はがきの裏が全面写真だったことに気がつき、宛名の「様」の下にごちゃごちゃっと本文を書くことになってしまいました。

診療所の外来には耳の聞こえない人も来ます。主に手話で経過や心の悩みをお聞きするのですが、わからない表現が出てきます。その時に勇気を出して「これはなに?」と聞くと、相手は「えっ」という顔になって、でも説明してくれます。そのやりとりの後に、お互いにホッとした雰囲気になって会話が進みます。耳の聞こえない人にとって、日頃わからないままで「うん、うん」と表現したり表現されたりしている体験が多いので、ここがわからない、というお互いの確認が大切なのです。

私のスマホの主な使い道は職場との電話なのですが、それでも毎日いろいろな機能の更新(アップデート)情報が来ますし、変なメールも来ます。今の世の中、あふれるほどの「情報」があって、でも「伝えあい」は多くない。

一歳になった孫、よく話します。ことばの「情報」は少ないけど、でもよく伝わってきます。

ボランティア リレートーク

手話サークルもみじ　佐藤舞子

私は3年ほど前から「手話サークルもみじ」に参加し手話講習会などで通訳などを担当しています。10年ほど前に手話を学びはじめた頃は、通訳で「マグロ」を「マゲロ」と表現したり、「4時間かかる」というところを「4年間かかる」などのとんでもない間違いや、思うような通訳ができず、落ち込んだこともたくさんありましたが、細々と続けています。

今年の手話講習会の最終回では、講師の先生から「ろう者にとって手話は財産だ」というお話がありました。

手話の歴史やろう者の生活は健聴者とは異なる文化や特徴があります。先生やろう者の友達に、手話禁止の時代や、ろうであるために苦しい思いをしたこともたくさんあったと、教わってきました。

一言では、表せない、とても深い感情だと思います。

そして、いろいろと考えているうちに、今、「私にとっても手話は財産である」ことに気づきました。ろう者にとっての「財産」とは異なりますが「様々な人々との交流の手段であり、自分の視野や世界を広げてくれるもの」となっています。

2025年11月には東京都で、デフリンピック（ろう者のオリンピック）が開催されます。開催にあたり、どんな工夫がされているのでしょうか、興味を持つことが世界を広げるかもしれません。

ろうの文化や手話に興味のある方、手話交流会にいらっしゃいませんか。ぜひお話ししましょう。

つぎは「指圧奉仕会」で活躍されている福住みつ子さんにバトンを渡したいと思います。

▲佐藤舞子さん

使用済み切手のご寄付ありがとうございます　～1月12日まで

寿楽荘様	杉山昭子様	藤野ヒデ子様
点字サークルてん点様	盛田正輝様	栃久保ママさんクラブ様
大氷川食糧販売所様	役場住民課窓口様	㈲長田工務店様
役場総務課様	島崎ツル子様	木もれび不動産様
澤本和容様	荒井勝美様	匿名1件

ボランティア養成講座お疲れ様でした

ボランティア養成講座の一環として開催された、各講習会の全日程が終了しました

【傾聴ボランティア養成講座】

１４名の方に参加いただき、全５回の講座を修了しました。傾聴とは何か、傾聴の活動する際に気をつける必要があることなどを学び、レクリエーションを行い実際に傾聴活動の体験もできました。

講習会に参加された皆さん、大変お疲れ様でした。

来年度も開催する予定となっていますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

講師の、NPO法人　P.L.A　専門講師　後庵正治さんありがとうございました。

【手話講習会】

１０名の方に参加いただき、全１０回の講習会を修了しました。

手話は初心者と中級者に別れて学びました。初心者は、指文字や自己紹介、簡単なあいさつなど日常の会話で使うことができる手話を学びました。中級者は、講師の先生との日常会話が中心で、より実践的な内容を学びました。

講習会の最後には、一人ひとりが感想を手話で行いました。皆さん講習会で学んだことを活かして、とても上手に手話を披露されました。受講された皆さんには今後、手話ボランティアとして活躍していただければ幸いです。来年度も計画したいと思いますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

講師の榎戸順子さん、中西美千代さん、佐藤舞子さん、ご協力ありがとうございました。

▲手話講習会講師と受講生の皆さん

【点字講習会】

７名の方に参加いただき、全１０回の講習会を修了しました。初めて参加された方は、講師の先生から丁寧に教えていただくことができました。経験のある方に、アドバイスをいただいたり、打った点字を講師の先生に読んでもらって確認していただいたり、実際に点字を打つ体験をしながら学ぶことができました。

点字ボランティアを必要としている方のために、学んだことを活かし、本の内容を点字で翻訳したりなど、点字ボランティアとして活躍されております。来年度も計画したいと思いますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

講師の澤本清美さん、須﨑葉子さん、ご協力ありがとうございました。

▲点字講習会講師と受講生の皆さん